

Japan Virtual Client Computing (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

Virtual Client Computing (VCC) は、仮想化ソフトウェア技術とエンドポイントデバイスへのデリバリーを融合させたコンピューティングモデルです。ソリューションベンダーとサービスプロバイダーは、この成長市場の重要性と機会を認識しており、市場、技術、およびエンドユーザの傾向を見えています。IDC Japan 年間情報提供サービス

「Japan Virtual Client Computing (Japanese Version)」は、IT サプライヤーが戦略上重要な判断を下せるように必要な情報を提供します。2023 年は、IDC が開発したフレームワーク MarketScape にてポジショニングマップを作成し、VCC および DaaS (Desktop as a Service) ベンダーのリーダーおよび市場概況について考察します。

Markets and Subjects Analyzed

- シンククライアント出荷台数ベースベンダーシェア、シンククライアント方式別シェア、OS 別シェア
- クライアント仮想化ソフトウェア ライセンスベースベンダーシェア、市場規模
- クライアント仮想化ソリューション/DaaS 金額ベース市場規模
- クライアント仮想化ユーザー数予測
- クライアント仮想化ソフトウェア ライセンスベース市場規模予測
- クライアント仮想化ソリューション/DaaS 金額ベース市場予測

Core Research

- 国内クライアント仮想化市場 実績
- 国内クライアント仮想化市場 予測
- 国内クライアント仮想化市場 ユーザー動向分析調査
- IDC MarketScape
- 国内クライアント仮想化市場：ソリューション/ユースケース分析

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Virtual Client Computing \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

1. COVID-19 における市場の変化と今後の予測シナリオは？
2. ネクストノーマル時代におけるクライアント仮想化の新たな役割は？
3. 在宅勤務/在宅学習、リモートワーク、BYOD は、クライアント仮想化市場を牽引する促進要因のひとつになりうるのか？
4. デジタルワークスペースは新たなキーテクノロジーになるのか？
5. 国内クライアント仮想化市場における成功要因は？
6. 産業分野別で最もシェアの高い業種および導入の進む分野は？
7. オンプレミスと仮想デスクトップサービス (DaaS) の割合は、今後どのように変化していくのか？またベンダー別成功要因は？
8. 国内クライアント仮想市場でのユースケースは、今後どのように拡大していくのか？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います (アルファベット順、50 音順)。

Atrust、AWS、DDS、Dell Technologies、Ericom、IBM、JB アドバンスト・テクノロジー、Lakeside、NComputing、NEC、Numecent、NTT アイティ、NTT コミュニケーションズ、NTT データ、NTT ネオメイト、Rockwell、SCSK、VXL、アシスト、アセンテック、伊藤忠テクノソリューションズ、インターネットイニシアティブ、ヴェイムウェア、エヌビディア、兼松エレクトロニクス、グーグル、シトリック

ス・システムズ、シマンテック、ジャパンスシステム、新日鉄住金ソリューションズ、ソフトバンク、東芝、ドコモシステムズ、日商エレクトロニクス、日本 HP、日本ヒューレット・パッカード、日本ユニシス、ニュータニクス、ネットワンシステムズ、日立製作所、日立ソリューションズ、ピュア・ストレージ、パラレルス、富士通、マイクロソフト、マカフィー、ミントウェブ、その他